

広報 くにみ

1998
平成10年6月15日……No.300

6

目次

- 〔特集〕ごみへのマナー……2
- 泥んこになって田植え体験……10
- いんふおめーしょん……16



森江野小学校の運動会。子供たちは、跳んで、走って、応援して、と大忙し。前日までの雨も上がって、絶好の運動会日和となったこの日、校庭いっばいに子供たちの歓声が響き渡りました。

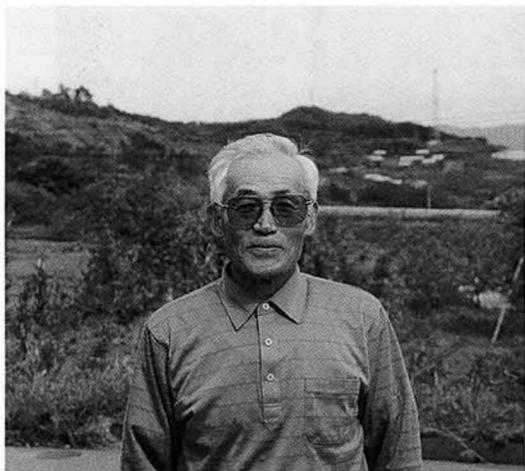
跳んで、走って
笑顔はじける



ごみへの マナー



物があふれるほどに豊富な今、ごみも一緒に増え続けてきました。私たちの暮らしの中で生まれたごみは、決められた日時に、決められた場所へ持っていけば収集する人が処理場へ運んでくれたり、リサイクルに回してくれたります。でも、ごみが手元を離れば、私たちの責任はなくなるのでしょうか。ごみの行方はどうでもいいのでしょうか。今一度、ごみへのマナーを考えてみたいと思います。



不法投棄

- ベッド、ふとん、テレビ、冷蔵庫、タイヤ、洗濯機、エアコン、自転車、タイヤ…。これらのごみを山や川に、平気で捨てる人がいます。自然が泣いています。

しっかり 取り組まないと

町保健委員 高橋 春美さん

不法投棄されたごみ回収の手伝いをしたのは昨年十二月とこの五月の二回です。捨てられているごみの山を初めて見たときは「どうしてこんな場所にこれだけのごみを」と、情けなくなりました。

大量のごみですから、車で運ぶのでしょね。また、人目があるから、早朝あるいは日が落ちた後に運ぶのでしょね。びくびくしながらこんな所に捨てに来るなら、自己負担はないのですから、堂々と処理場に運ぶとか、粗大ごみの収集日に出すとかすればいいのに、と考え込んでしまっています。

◆信じた

不法にごみを捨てる人はどんな人なのでしょう。まだまだ使えそうなベッドやイス、ふとんなどを見てみると、捨てた人の人柄が垣間見られます。自分だけならいいだろうとか、ほかの人もしているのだからといった甘えがあるのでしょうか。また、古タイヤやタイヤ、角材なども捨てられています。事業系のごみを正規に処分する場合は有料だということも関係しているのでは、と思います。一般家庭のごみも有料になれば、不法投棄されるごみは増えてくるのではと

心配です。

しかし、それでも私は、不法投棄をする人も必ず心のどこかに罪の意識を持っているはずだと信じています。

◆ごみとの関係

世の中が便利になった分、ごみが増えました。そして、ごみが増えた分、分別収集やリサイクルといった手間のかかる作業も増えてきました。昔は、家庭で処分できるごみが大半だったので、今は無理です。また、ダヨオキシンなどの環境問題がわかるにつれ、処分できなくなったごみもあります。

不法投棄されたごみを見てみると、きちんとした処理方法がわからない人が多いのかな、とも思います。町がごみの出し方やリサイクルの方法を、回覧や広報で知らせても、見ている人がたたくさんいます。「いつ、どうなったの。知らなかった」という人がいるのですから。

ごみの上手な付き合い方は保健委員やごみ減量化推進員だけがわかっていてもだめなのです。この町に住む私たち一人ひとりが、自分のこととして、しっかりと考え、取り組まないと上手に解決しないのではないのでしょうか。

●不法投棄ごみの回収

五月十五日、阿津賀志山と山崎山の三ヶ所に捨てられていた不法投棄ごみを回収しました。昨年十二月、今年の四月に続き三回目です。

この日回収に協力してくださったのは、町保健委員会の役員、県不法投棄監視員のみなさんです。午前九時から作業を始めました。が、一時雨足らずで二台のトラックは満杯。予定より早めに処理場へ運び込まなければならぬほどの量でした。





ごく一部の 人たち

藤田駐在所 舟山 修治さん



毎日の暮らしの中で、ごみは必ず出てきます。物が豊富な今は、なおさらです。ごみを減らすことも大事なことです。ごみひとつの道徳心が大切になっ

◆ルールを守る

不法投棄されたごみは、量が問題なわけではありません。捨てること自体が問題なのです。悪質な場合は、検挙することもあります。

このように、ごみの不法投棄防止のために巡回をしています。また、不法投棄されたごみを見つけたときには、行政と一緒に私たち警察も動きます。一昨年の暮れに、土地の所有者から「ごみが捨てられているから調べてほしい」と連絡がありました。町の担当者と一緒に現場へ行くと、家庭から出されたごみが大量に捨ててありまし

た。

このようなとき、私たちは不法投棄されたごみを一つひとつ丹念に見ていきます。そうすると、捨てた人がわかるもの。このときも、捨てたと思われる人が浮かんできました。その人と話しをしていくうちに、捨てたことを認めたので、その場にいったごみをすべて回収してもらいました。

一人ひとりが気を配って協力することが大事ですね。また、ごみの処分困ったときには、決して山や川に捨てずに、町の担当係に相談することを忘れな

いでください。

すばらしい自然環境をごみで汚すことは、とてもさびしいことです。もつとも、これらの心ないことをするのは、ごく一部の人のためだということ、私たちは知っています。

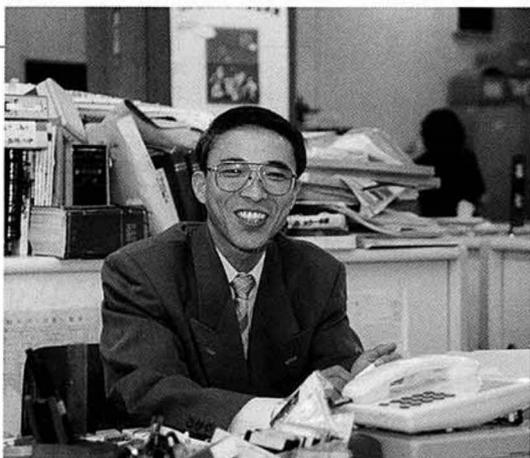
家庭のごみは、町で回収する曜日や時間を守って出せば、すつきりと片付きます。燃えるごみ、燃えないごみ、リサイクルできるごみ、粗大ごみ。これだけごみの種類と量が増えくると、分別はたいへんです。仕分けするだけでも時間がかかることもわかります。だからこそ、一人ひとりが気を配って協力することが大事ですね。また、ごみの処分困ったときには、決して山や川に捨てずに、町の担当係に相談することを忘れな

いでください。

ごみの問題は、私たちの良識をもつとも端的に表しているのではないのでしょうか。

◆気を配る





みんなの町だから

住民課 生活環境係長

佐藤 和夫

国見町の山や川に捨てられているごみを回収しながら、一つひとつ調べていくと、ごみを捨てる人は、大部分が町外の人だといことがわかります。それも近くの町の人ではありません。ごみ収集が有料になっているような、ちよつと離れた町に住む人たちです。

タイヤ、バッテリー、冷蔵庫、洗濯機、エアコン、テレビ、ベッド、ふとん、空き缶、自転車、雑誌、新聞、イス、タイル。ありとあらゆるごみが、捨てられています。

町では、これらのごみの回収を保健委員のみなさんのご協力をいただきながら、年に数回行っています。今年度は、すでに二回行いました。五月十五日の回収では、二台のトラックで一度に運びきれず、山と処理場を二度も往復しました。

◆ 自分のごみに責任

捨てられたごみを見ながら、「どうしてなんだろう」と首をかしげてしまいます。捨てられているごみの中には、古タイヤやバッテリーなど、収集できない特殊なごみもあります。しかし、そのほかのごみは処理場に搬入すれば無料で引き取ってくれるものばかりです。

面倒くさいからなのでしょいか、それとも処理場に運ぶと有料だとも思っているのでしょうか。大量のごみを回収しながら、ごみに責任を持っていない人がいることは、とても残念なことだなと思います。

しかし、その一方で、ごみの減量やリサイクル回収へのみなさんの取り組みは、よその町の手本となっているということも事実なのです。

◆ みなさんの一生懸命

平成八年七月から、国見町ではごみのリサイクルに取り組んでいきます。みなさんが熱心に協力してくださるので、処理場に搬入するごみの量が驚くほど減りました。相対的にごみの量は増えているはずなのに、処理される量が減つたのです。これはみなさんの一生懸命さを表しています。

処理場は、各町の負担金で運営されています。この負担金は、搬入されたごみの量で決められていて、ごみの量が減れば、町の負担金も少なくなります。その分ではかの事業を充実させることができるのです。そういうことを考えながら、もう一度、身の回りのごみを見つめ直ししてください。

● 罰則があります

ちよつと固苦しい法律名ですが「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」という法律があります。私たちは、廃棄物の排出を抑えたり、適正な分別、収集、運搬、再生処分などの処理をしなければならぬことになっています。また、不法投棄も厳しく規制されています。ですから、不法投棄をした人は、当然この法律によって罰せられます。

罰則規定は「一年以下の懲役、又は三百万円以下の罰金」が科されます。





リサイクル

ごみの減量化を進める中で、もっとも注目されているのが、ごみのリサイクルです。平成8年から始まった国見町の資源ごみ回収。私たちの資源ごみ回収への取り組み方はどのようなのでしょうか。

再び生き返る資源

リサイクル業 岡崎 勝男さん



この仕事を始めて二十五年です。これほど資源回収が注目されるのは、かつてないことです。ぜいたくさんまいだった暮らしを見つめ直す良い傾向です。

ただ、みなさんが熱心に取り組んでいる資源回収も、受け皿となる再生業者の段階で滞っています。特にひどいのが雑誌や段ボールなどの古紙のリサイクルです。古紙がだぶついているため、価格が暴落し、引き取ってもらおうときには、私たち回収業者が1^{ポツ}当たり三円五十銭を支払っているのが現状です。今後、この額は増えそうです。

それに、店で販売されている再生紙の価格が、新品の商品よりも高いというも解せないことです。消費者や回収業者の負担が増えるだけで、大企業の努力している姿が見えません。これは、制度や施設がきちんと整わないうちに、国が安易にリサイクルを押し進めた結果です。

リサイクルに熱心に取り組んでいるみなさんを間近に見ている私たちは、複雑な思いをしています。

◆ごみじゃない

リサイクルへの取り組み方が多くの人に浸透してきたのでしよ、ね、資源ごみの量は増えて

きました。しかし、リサイクルが始まった当時に比べ、出し方はちよつと悪くなっています。古新聞の中に漬物石やガラス、生ごみなどが入っていたりしてびつくりします。こういったルール違反をする人が、少しずつが増えてきたような気がしています。

これらの人たちは、リサイクルごみを、単に「ごみ」だと思っっているのではしよ、ね。でも、回収している私たちは、もう一度生き返る資源」だと思っっています。ルールを守って出してください。

◆町は優等生

よその町の様子を見聞きするたび、私たちの町のごみへの取り組みは、一歩も二歩も先を進んでいるな、と思います。優等生ですよ。一部の心ない人がいたとしても、大部分の人たちは資源回収に熱心です。町も、リサイクルの日を設けたり、報奨金制度を作ったり、生ごみ処理容器の購入費用を助成したりと、一生懸命です。

回収した品の価格が下がってたいへんですが、まじめに取り組んでいるこの町の人たちの姿に、私たちが元氣付けられていることも事実なのです。

●リサイクルできるごみ

▼紙類…新聞紙、雑誌、段ボール、紙パック▼ペットボトル…材質表示マークのあるもの▼びん類…ビールびん、ジュースびん、透明な一升びんなど▼空き缶…アルミ缶【分け方・出し方】

▼紙類…それぞれ種類ごとに分け、ひもなどで十文字に束ねて。紙パックは水洗いの後に切り開いて▼ペットボトル…キャップははずし、中は水洗いを。踏みつぶして明指定袋で▼びん類…キャップをはずし、中は水洗いを。ラベルはそのままで▼空き缶…アルミ缶のみを明指定袋で。スチール缶はクリンボックスで燃え切りごみの日に▼日時・場所…リサイクルの日に午前8時まで指定場所へ

▼「リサイクルの日」
▼藤田・山崎・石母田地区：第二土曜日▼小坂・森江野・大木戸・大枝地区：第四土曜日
▼資源回収報奨金

町内会や子供会などがリサイクルごみを回収したとき、1^{ポツ}当たり五円の報奨金を交付。





地区の取り組み

ごみの減量化やリサイクルにみんなで取り組んでいる町内会があります。中部町内会です。処理場を視察したり、説明会を開いたりして、町内会ぐるみで考え、話し合い、そして実行しています。



みんなで決めて、 守る

中部町内会長 玉手 正平さん

中部町内会には三十二世帯が暮らしています。家と家、人と人、それぞれに結び付きが強く、何をするにもみんなで話し合っただけ、決めたことはみんなを守る、それが伝統になっています。

ごみのリサイクルが始まったとき、町内会の一人ひとりがごみの実態を知らなければならぬのではないかと、という意見が出され、ごみ処理場の視察を行いました。この視察には、ほぼ全世帯から参加しました。一般の人は処理場などの視察をする機会はないですね。ですから大半が初めての人でした。

ごみを処理するためにはたくさんのお金がかかること、空きびんや空き缶などの分別は手作業で行われていることなどを自分の目で見て、耳で聞き、たいへんなことだと感じた人が多かったです。また、町の担当者に来ていただいた説明会も二回開催しました。一回目に出席したのは大半が世帯主の男性でした。でも、お母さんたちにもよく理解してもらいたいと、その後に開催した説明会は、女性を対象にしたものでした。

◆ 独自の出し方

処理場の視察や説明会を実施

したことで、ごみの出し方や減量に対する考え方が、より一層しっかりしたものになりました。みんなが同じような知識や意識を持つことは、大切なことなのです。

生ごみ処理容器も全世帯が利用しています。粗大ごみの出し方にも、ちよっとした取り決めをしました。粗大ごみを出すのは年二回、七月と十二月だけです。町内会の要望をもとに、町と相談した上でのごことです。

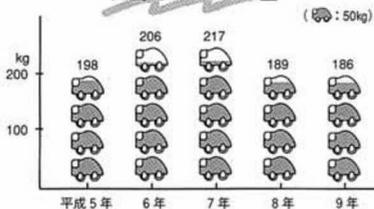
よその地区のごみ収集場所には、積み残されたカラーテレビやポットなどがそのままになっていますが、私たちの収集場所はいつもすっきりと片付いています。また、リサイクルの報奨金の使い道は、お母さんたちに任せています。

◆ 心に支えられて

ごみ問題は、これまでのぜいたくのツケが回ってきたのです。ですから、今できることはすぐにも実行しなければなりません。幸せなことにこの町内会は、一声かけるとみんなが顔を出してくれます。人が生きるということはお助け合うことが基本なのです。一人ひとりのモラル、その心に支えられての取り組みです。

● 減りましたよ、ごみの量
平成九年度中に園児町から処理場に搬入されたごみの総量は、二一三三ト、平成八年度の二〇三三トに比べ三%減少しました。ごみの量がピークだった平成七年度に比べると二六%もの減少率です。これは、一昨年七月から始まったごみのリサイクル活動が実を結んだ結果です。みなさんの熱心な取り組みが数字となって表われました。

一人当たりのごみの量





対 談

ごみを出す人
集める人

聞きたかったこと、言いたかったこと

ごみを出す人 集める人。
それぞれに、聞きたかったこと
とや言いたかったことがある
はずです。そこでちょっと、
お互いの胸の内を話してい
たきました。



齋藤 以前は福島市に住んでいました。福島市のごみ収集は指定袋でしたから、国見町のごみ収集が指定袋になっても、さほど気になりませんでした。集める人にとってはどうですか。

熊坂 いまだに首をかしげたくなるようなごみもありますけど、全体的には透明な袋になったため楽になりましたよ。燃えるごみの中にも空き缶や危険物などが入っていても取り除くことができますから。

齋藤 ごみ袋には名前を記入することになっていますが、きちんと書いてありますか。

齋藤由美子さん

(藤田光陽)

三人の子供のお母さん。地区のごみ減量化推進員です。「五人家族だと、一日のごみはけっこうな量になりますよ。」

熊坂 導入された当時に比べ、だんだん減ってきましたね。名前を記入する場所が、ちよつと小さくなりますよ。

齋藤 藤田光陽町内会では、ごみ出しのマナーはきちんと守られてるんでしょうか。

熊坂 ここは模範的ですね。燃えるごみ、燃えないごみ、粗大ごみ、資源ごみ、分別から出し方まで、しっかりしています。

齋藤 指定ごみ袋を使っているごみもありますか。

熊坂 ありますよ。町全体のうち、五分の一ぐらいかな。

齋藤 そんなにあるんですか。熊坂 ちよつとずつ増えてきましたね。そういうごみは、集めなくてもいいんですが、猫やカラスが汚したりしますから、中身を確認してから収集します。指定袋に入れて出してほしいなと思います。

● 一般ごみ
【燃えるごみ】

使い捨てカイロ、紙箱、革製品、衣類、布類、紙おむつ、目から、おもちゃ、洗剤、ソース、しょう油などの軟質プラスチック、ポリバケツなどの硬質プラスチック、生ごみなど▼収集日：○藤田市街地：週三回(月・水・金) ○市街地以外の地区：週二回(火・木)
▼出し方：氏名、町内会名を記入した町指定のごみ袋で。

【燃えないごみ】

リサイクルできないびん、スチール製の空き缶、スプレー缶、卓上ガスボンベ、ガラス類、陶器類、蛍光灯など▼収集日：○藤田市街地：週一回(火) ○市街地以外の地区：週一回(木) ▼出し方：○クリンボックスに入れて○空きびんと空き缶は中を水洗いして。また、空きびんはキャップやふたをはずして○スプレー缶や卓上ガスボンベは底に穴を開けて○スチール缶は親月台文化センターの「くわがん鳥」の利用も。

【粗大ごみ】

三輪車、自転車、ストープ、冷蔵庫、洗濯機、テレビ、針金、なべ、やかん、畳、マットレス、かさ、



熊坂 弘さん

(国見ゲザー)

ごみ収集業のほかに福島県の不法投棄監視員もしています。「ごみってね、出した人の人柄を正直に映し出すんです」。



の：。

熊坂 でもね、国見町のごみはきちんとしているんです。処理場の職員が感心するほどです。

◆火を吹くことも

熊坂 竹串や爪楊枝、ポールペンなどの先がとがったもので、けがをすることがあります。何かに包んで出してもらえると助かります。また、一番気を遣うのはスプレー缶や卓上コンロ用のガスボンベです。

齋藤 スプレー缶は、穴を開けて、ガスを抜いてから出すようになっていきますよね。

熊坂 穴が開けられていないスプレー缶をそのまま積み込んで、収集車が火を吹いたことがあります。そんなときは作業を中断して処理場へ直行です。スプレー缶は、一本一本確認してから積み込んでいます。

齋藤 穴を開ける場所は決まっていますよね。

熊坂 穴は、底の部分に大きく開けてください。絵柄の部分に小さく開けられても確認しにくいのです。確認できないスプレー缶は置いていきます。すると

「穴を開けたのになぜ持っていない」と苦情が。けつこう、つらいものがあります。

◆人が見える

齋藤 暑い季節になると、水分を含んだ生ごみも多くなりますね。私は、しっかりと水切りをして出すようにしています。

熊坂 生ごみをポリバケツで出す人がいます。町では生ごみ処理容器で処理するようお願いしていますが、設置できないアパート住まいの人の場合は、十分に水切りをして出していただと助かります。

齋藤 出されたごみを見てみると、出した人の人柄がわかってしまうってこと、ありませんか。熊坂 わかりますね。しっかりとしてるなどか、いいかげんだなとか、忙しいんだなとか…。

齋藤 私たちは、集める人や処理する人のことも考えて出さなければなりませんね。また、何よりもそれぞれがきちんと責任を果たすことが大切なのです。熊坂 そうですね。そうしたいだけだと、収集する私たちも助かります。

ふとんなど▼収集日：全地区とも第一・第三水曜日▼出し方：収集日の前日まで生活環境係へお知らせください。

【出せないごみ】

小型ガスボンベ、練炭や豆炭の灰、注射器、タイヤ、石、土砂、バッテリーなど▼対処方法：小型ガスボンベ、バッテリー、タイヤは販売業者へ。残灰は自宅処理。できない場合は個人で清掃センターへ搬入を。治療用注射器は医師に返却を。農機具類は個人で処理場へ搬入を。

★問い合わせ

住民課 生活環境係

☎(585)2116



泥んこになって

田植え体験



小坂小の子供たちが五月十四日、田植えをしました。保護者会水稲部の協力で毎年行われている体験学習です。水田は斎藤實さんから借り、苗は熊坂正一さんが育ててくれました。

田起こしは五年生と六年生が、代かきは四年生以上の子供たちが担当し、田植えは全児童が行いました。子供たちは、水稲部員から植え方の説明を聞いた後、約四町の水田に、もち米の苗をていねいに植えました。

今年初めての一年生は、おそろおそろ水田に足を入れ、上級

生やおとうさん、おかあさんに教えてもらいながらの田植えです。一方、去年も体験した二年生以上の子供たちは、ちよつぱり余裕の表情。それでも、田植えが終わるころには、手足も体操着も泥んこでした。

水田から上がった子供たちは名前と作業の目当てを書いた木の札を一人ひとり立て、おいしいお米ができるよう祈りました。昨年の収穫は百五十一*kg。実りの集いや西気賀小との交流のときに、みんなでいただきます。

西気賀小に おいしいお米を



5年 横山 碧さん

「よし、私たちが作ったおいしいお米を西気賀小のみんなにもわけてあげます。そして、西気賀小のみんなに食べてもらおう」と、決心した私。田植えをするとき、ちよつぱりとこわくて田んぼに入るのを戸惑ってしまいましたが、友だちがどんでん入っていくのを見て、勇気を振り

絞って田んぼに入りました。スズブと、足が入っていきます。水が少し温かったので、途中で凍ったのですが、あともうちょっとというところで、何と「ヒル」を見つけてしまいました。びっくりしましたが、それから足元に気を配って、慎重に苗を植えました。

途中、ひくびくしながら田植えをしていましたが、自分の目当てを思い出して、一生懸命できたので良かったです。実りの秋が、今から待ち遠しいです。

(さなぶりの集いで)



田起こしに始まって、田植えが済んで一段落した小坂小で二十日、さなぶりの集いが開かれました。

野崎校長が「みなさんが一生懸命米作りをしているので、おとうさんやおかあさんもお手伝いをしてくれます。お米がたくさんとれたらいいな、とれたお米は西気賀小との交流のときにも活用したいなと思います。そして何よりも、この体験を通してみなさんが良く考える子供になってほしいと思います」とあいさつしました。

また、来賓として出席した富永町長は「さなぶりの集いにお招きありがとうございます。お米作りを体験することはすばらしいことです。田んぼを貸してくれたり、苗を準備してくれたりした人に感謝しながら育てて、秋にはたくさん収穫してください。また、西気賀小との交流のときには、私たちが作ったお米です、と胸を張っておみやげに持ってください」と激励しました。

その後、一年生から六年生の代表が田植えの感想文を発表し、昨年収穫したもち米で炊いた赤飯をいただきました。



さなぶりの集いも



よじさん 砂糖飲み込み 生き返る



おの再発見
くにもの
民話かるた

これは、西大枝のお年寄りから聞いた本当の話。

◇ ◇
少し昔、西大枝に豊治とよじさんという人がいました。二十歳くらいのころ、梅の実をもぎながら、つい一升も食べて、大変な腹痛になり、もう死ぬばかりになったときのことだそうです。

枕元に集まった親兄弟は何ともしも助けたいと、にかく豊治は『砂糖』が好きたからと、むりやり口に押し込んで、皆して大声で、「とよすー、とよすー」と呼んだのだそうです。すると死にかけていた豊治が、ぼかーと目を開

けて言いました。「おら、南部の恐山まで行ってきた。山があつて、前が沼になつてた。山にはボツンと穴が開いで、上の方に光が見えた。なんほはい上ろうとしても上がれない。船に乗って白い着物着てる人や軍服着た人が、ボカー、ボカーと消えてしまふ。おらは『まだ来んの早いぞ』と言われ、帰ってきた。越河の山越えて伊達が見えた。おらの家が見えたと、ハツと目が覚めた。」

皆に呼ばれて生き返つた豊治は、その後八十歳近くまで長生きしたそうです。



福島民友新聞社提供

3年目を迎えた

直播栽培

小型の無人ヘリコプターで、米の種もみを直接水田にまく直播栽培が、ほ場整備が完了した小坂地区の水田で行われました。国見町での直播栽培は、県と町、生産者そしてJA伊達みらいが協力して一昨年からはじめられました。今年度は、百三十二戸の農家で組織する小坂水稲直播組合が結成され、実施しまし

た。

今年度の播種は四月二十一日から始められました。総面積は、昨年の三倍近い二十七・七ヘクタール。この日は、強い日差しの中、全長三キロほどの無人ヘリコプター二機に種もみを積み込み、約九ヘクタールの水田にまきました。

無人ヘリコプターによる直播栽培は、昨年に引き続きの取り組みです。今年はいままでの二倍以上の種もみを積み込むことができ、一区画三十ヘクタールほどの水田なら十分前後でまける新型機を使用し、地元の農家や県町の関係者が見守る中、区画整理が終わったばかりの水田で作業が進められました。

直播面積は全国一

水田に直接種もみをまく直播栽培。平成8年度から本格的に導入し、福島県内の湛水直播面積は、約448haで、全国一です。年々、収量、品質とも着実に向上しています。

米の価格低迷や生産調整など、米を取り巻く状況が厳しさを増す中、大幅な生産コストの低減と省力化につながる直播栽培は、21世紀の米作りの「切り札」として期待されています。

湛水と乾田

直播栽培には、代かきを行った田に種もみをまく湛水直播と、水のない畑状態の田に種もみをまく乾田直播があります。

湛水直播は、有人や無人のヘリコプターや兼用播種機を使用します。乾田直播はドリルシーダという種まき機を付けたトラクターで種もみをまきます。

従来の箱播種や苗床、育苗、田植えなどの作業時間やコストを大幅に抑えることができます。また、生産調整の一つの手法に位置付けられ、直播栽培面積の15%が生産調整面積として認められています。



園児とお年寄りの ふれあい農園



五月二十一日、養護老人ホーム桑折緑風園で、藤田保育所の園児たちと入所しているおじいさん、おばあさんたちが一緒にサツマイモの苗を植える、ふれあい農園・交歓会が行われました。

この交歓会は、昭和六十三年から行われている恒例行事で、今年も保育所の年長組二十八人と緑風園の入所者約七十人が参加しました。

斎藤幸吉園長が「みなさんと一緒にサツマイモの苗を植える

ことをとても楽しみにしていました」とあいさつした後、さっそく手を取り合せて畑へ。ふれあい農園と名付けられた約五坪の畑で、一緒に仲良くサツマイモの苗を植えました。この畑は、お年寄りたちが油がすなどの肥料をまいたり、土起こしをしたりして、準備してきた畑です。

この日植えられたサツマイモは、秋の収穫までお年寄りが手入れをしてくれま。秋には一緒に掘り起こし、焼いてもパーティーを開きます。



秋を楽しみに育てます

桑折緑風園は昭和50年7月にオープンした施設で、現在100人が入所しています。

親月台文化センターでの民謡や歌謡ショーに招待していただいたり、小学生の訪問を受けたりしますが、そんなときのお年寄りの表情は、とてもうれしそうです。特に藤田保育所の子どもたちとの交歓会は、楽しみにしている行事です。昨年、雨のためにお年寄りだけの作業でしたが、2年ぶりのふれあい農園です。今日は、朝から子どもたちの到着を、今か今かと、顔を輝かせながら待っていました。

植えた後の水や草取りなどの管理は、野菜作りが大好きなお年寄りが、買って出てくれます。園の畑には、カボチャ、ネギ、トマト、ナス、ジャガイモなども植えられていますが、サツマイモは特別です。秋に子どもたちと掘り出し、一緒に食べることを楽しみに手入れをしています。



桑折緑風園
園長
斎藤幸吉さん



ひろびろ の〜んびり

ぼくや
町営牧野開放



昨年十月から冬期間の閉鎖をしていた国見町営牧野が、五月八日に開放されました。開放式には、高橋友義国見牧野利用組合長、富永町長ら関係者四十人が出席しました。高橋組合長のあいさつに続き、来賓として出席した富永町長が「今年で三十六年目を迎える牧野利用組合は、組合員が一致団結して運営してきました。すばらしいことです。牛の生産が目的の組合ですから、子牛が生まれないと運営が難しくなっています。畜産農家も厳しい経営

が強いられている今、良い牛を低コストで生産することが求められています。町もできるだけの協力をします。豊かな自然の中で、親牛は丈夫に、子牛はより大きくなって、秋には一緒に里へ戻れるよう祈ります」と祝辞を述べました。

町営牧野は、国見町と宮城県白石市にまたがる馬頭山にある二十一㍎の牧草地で、牧野利用組合が管理運営をしています。この日開放された牛は二十五頭ですが、徐々に増やし、七十頭の開放を見込んでいます。

一年一産が目標

私たちの組合は牛が誕生しないと採算が合いません。一年に一産が目標です。

今日開放されたのは25頭ですが、子牛の出産後に放牧される牛もいますから、最終的には70頭ほどになります。

牛の価格は全国的に低迷しています。このような状況だからこそ、良質の牧草、自然環境、牛の健康状態などを上手に管理しながら、生産コストを下げ、畜産農家の経営安定を目指したいと思います。

私たちの事業を応援してくれる町に感謝しながら、今年も元気に牛が育つよう、過ごせるよう、全組合員が協力して運営していきたいと思っています。

(開放式で)

国見町営牧野利用組合長 高橋 友義さん



子宮がん検診を受けましょう



30歳以上の女性を対象に子宮がん検診を行います。

回覧で検診受け付けをしますので、受診希望の方はお申し込みください。

- 期 間 7月10日から8月28日
(8月10日～14日を除く)
- 場 所 公立藤田総合病院 婦人科外来
- 申し込みされた方には、ハガキで個別に通知します。

保健だより

保健福祉課 保健増進係 ☎(585)2783

*** 育 児 教 育 ***

該 当 乳 児	実 施 日	受 付 時 間	場 所
平成10年1月～2月生まれの乳児	8月5日(木)	午後1時30分～午後2時	観月台文化センター 第1和室

- ・身長と体重の測定、離乳食、予防接種などについてのお話です。
- ・母子手帳を忘れずに。

*** 乳 児 診 療 ***

該 当 乳 児	実 施 日	受 付 時 間	場 所
3か月児(平成10年4月生まれ) 9か月児(平成9年10月生まれ)	8月20日(木)	午後1時30分～午後2時	観月台文化センター 第1和室

- ・医師の指導、身長と体重の測定、調乳のしかた、離乳、家族計画などについて。
- ・母子手帳を忘れずに。

*** 3 歳 児 診 療 ***

該 当 乳 児	実 施 日	受 付 時 間	場 所
平成7年2月～4月生まれの幼児	8月25日(火)	午後1時15分 ～午後1時45分	観月台文化センター 大研修室

- ・内科医と歯科医の診察、生活保健指導、視力・聴力検査などを実施します。
- ・健診票は後日郵送します。
- ・母子手帳を忘れずに。

7月
は
愛の血液
助け合い運動月間

この時期から夏場にかけては、どうしても血液が不足する時期です。そこで、七月一日から三十一日までの一か月間、愛の血液助け合い運動を展開します。一人でも多くの方のご協力をお願いします。

若いときから
健康貯金

健康な体を維持するためには、「栄養」「運動」「休養」をバランスよく保つことが大切です。喫煙や飲酒といったことも含め、これらの生活習慣を改善することで病気を防ぐことができます。今から十年後、二十年後、あなたは、自分の健康な姿を想像できますか。人生の後半をすこやかに充実して過ごすためには、心はもちろん、体も健康であることが何よりです。健康は、一時でつくるものではなく、また、お金で買えるものでもありません。自分の体は自分で守ることを常に意識しながら、今から健康貯金に心がけましょう。



おふいん め～しよん

募集

国見町職員 ●

(大学卒程度)

国見町では、平成十一年度に採用する職員(大学卒程度)の募集をしています。▼受験資格：昭和四十九年四月一日まで生まれ、四月一日まで生まれ、大学を卒業した者又は平成十一年三月までに卒業見込みの者▼募集期間：六月三日～七月二日(郵送の場合)は六月三十日消印分まで受け付け)▼一次試験日：八月二日▼合格発表：十月上旬▼二次試験日：一次試験合格者に通知▼申込用紙の請求：申込用紙は総務課で交付します。郵便で請求する場合は、封筒に「大学卒程度試験申込用紙請求」と朱書きし、八十円切手をはり、あて先を明記した返信用封筒を同封すること▼申込方法：◇申込用紙に必要事項を記入し、総務課に提出すること▼郵送する場合：封筒に「大学卒程度試験申込」と朱書きし、八十円切手をはり、あて先を明記した返信用封筒を同

封すること▼受験票を受領したときは、六か月以内に撮影した本人の写真一枚をはり、受験当日持参すること。

★問い合わせ

総務課 庶務係

☎(585)2112

しあわせ

金婚夫婦 ●

福島県老人クラブ連合会では、今年中に金婚式を迎える夫婦を表彰します。

▼該当者：昭和二十三年に結婚した夫婦。ただし、昨年までに届け出しなかった夫婦も引き続き対象となります▼受付期限：七月十日まで▼申込方法：各単位老人クラブに申し込むこと。★問い合わせ

国見町社会福祉協議会
☎(585)3403

生き生き長寿 ●

県民賞・ライフ賞 ●

福島県長寿社会推進機構では、過去に培った経験や知識を生かし地域で活躍している人、中高年から一念発起してものごとを成し遂げた人や団体を表彰してい

ます。

▼応募資格：年齢を感じさせない生き方をしている、あるいは積極的に社会参加活動をしているおむね六十五歳以上の高齢者や団体▼締め切り：七月三十一日▼賞：◇生き生き長寿県民賞◇生き生きライフ賞★問い合わせ

保健福祉課 福祉係

☎(585)2793

自宅で

大学の授業を ●

放送大学では、平成十年度の二学期(十月入学)の学生を募集しています。自宅で大学の授業が受けられる放送大学は、一月二十一日からCSデジタル放送で全国放送をしています。テレビとラジオで授業を行い、自宅で学習できます。

▼募集学生：◇全科履修生(卒業を目指す学生)◇選科履修生(一年間在学)◇科目履修生(六か月在学)▼受け付け期限：八月十五日▼放送大学の特長：◇テレビとラジオを利用して授業を行う正規の大学です◇入学試験はなく、十八歳以上ならだれでも入学できます▼一科目でも学べます▼

西分署 だより

住宅防火は家族みんなの心がけ

全国で、毎年三万件もの建物火災が発生しています。このうち、最も多いのが住宅火災です。火災は、ちょっとした気のゆるみや不注意から発生し、あっという間に大切な家や家財を灰にしてしまいます。火が出たときに被害を最小限にとどめることも重要ですが、まず、火災を起こさないための心構えと知恵を身につけましょう。実際の火の用心のポイントは何なのかを知っておくことが大切です。

★ここがポイント

- ▼吸いがらは灰皿へ
- ▼コンロのそばを離れるときは必ず火を消す
- ▼「三口火災の約九割が油(火)から」
- ▼風呂は水を確認してから点火
- ▼マッチやライターは管理をきちんと
- ▼石油ストーブの給油は火を消して。周囲に燃えやすいものを置かない
- ▼たこ足配線はしない
- ▼コンセントやプラグ周辺の掃除をする

★問い合わせ

伊達地方消防組合西分署
☎(582)3190



●お忘れなく— 児童手当現況届

児童手当の受給者は、毎年6月中に児童手当の現況届を提出しなければなりません。この届は、児童手当を引き続き受給する要件があるかどうかを確認するためのものです。未届けの場合は、6月分以降の手当が受けられなくなりま。ご注意ください。なお、該当者には通知を差し上げます。期日までに届け出を済ませてください。

★問い合わせ 保健福祉課 福祉係 ☎(585)2793

卒業すれば学士の学位を取得できます。
★出願・問い合わせ
放送大学学園
☎043(2998)4201

お知らせ

河川をきれいに

七月は河川愛護月間です。ふるさとの河川を守るため、町内を流れる普蔵川、滝川、牛沢川、佐久間川、上泉川の一級河川をはじめとする中小河川を対象に、クリーンアップ作戦を展開します。このクリーンアップ作戦は、全国一斉に行われるもので、河川敷に捨てられたごみや空き缶などを回収したり、雑草木の刈り払いを行うものです。ご協力をお願いいたします。実施日は次のとおりです。

▼実施日：七月五日(日)
＊後日、詳しいことをご知らせします。
★問い合わせ
建設課 維持管理係
☎(585)2972

県フォトライブラリー開設

福島県では、福島県や観光連盟などが所有している写真やフィルムをみなさん

に貸し出して、各種印刷物などで積極的に「美しい福島」の姿を県内外に紹介してもらうために、福島県フォトライブラリーを設けました。どうぞ、ご利用ください。

▼登録写真：つくしまふくしまフォトコンテスト入賞作品や県の広報誌で使用した写真、県観光連盟が所有している写真など合わせて三千点▼貸出し範囲：県、市町村や団体、個人▼貸し出し手続き：申込書に必要事項を記入し、県広報広聴課に提出▼貸し出し期間：最長一か月

★問い合わせ
福島県 広報広聴課
☎(521)7014

不正改造は危険がいっぱい
六月一日から三十日まで、「不正改造車を排除する運動」を展開しています。車の不正改造は危険がいっぱいです。事故やトラブルの原因になるばかりか、大気汚染や騒音など、周囲の生活環境を破壊することもあるのです。自分勝手にルールを破って、みんなに迷惑をかける

ことは許されません。車の不正改造はやめましょう。
★問い合わせ
福島陸運支局
☎(546)0344

検察審査会制度

検察審査会制度は、みなさんの良識を検察官の仕事に反映させ、より良い刑事司法を実現するためのものです。抽選で選ばれた十一人の検察審査員が、検察官の不起訴処分等の善し悪しを審査します。この制度ができて、今年で五十周年を迎えます。この間、大きな実績を残しています。審査の申し立てには、一切の費用がかからず、秘密も守られます。気軽にご相談ください。

★問い合わせ
福島検察審査会事務局
☎(534)2156

松くい虫防除

松くい虫による被害が増えています。町では、この被害を防ぐために、ヘリコプターによる薬剤散布を行います。

▼散布地域：◇石母田横向、脇田、熊笹ヶ入周辺の松林
◇泉田新田集落周辺の松林
◇散布日・時間：◇六月二十五日、七月九日◇石母田地区：午前四時三十分～六時◇泉田新田地区：午前五時三十分～八時三十分▼お願い：◇散布日や散布時間は、天候によって変わる場合があります◇散布日は対象区域内に立ち入らないでください◇水島森線、阿津賀志線、原町線、南半田赤坂線、半田北口線は通行止めになります。

★問い合わせ
農林課 農林振興係
☎(585)2986

7月の心配ごと相談

6日(開)	後恒さん	佐久間モトさん
15日(開)	一さん	佐久間フミさん
24日(開)	愛子さん	佐藤 光雄さん
場所	役場(2階)相談室	
時間	午前9時～正午	

人口と世帯

人口	5月1日現在
男子	5,513人(-15)
女子	5,895人(-22)
計	11,408人(-37)
出生	9人
転入	36人
死亡	14人
転出	68人
世帯	3,124世帯(+6)

(5月20日届出分まで)



誕生おめでとう

- 大津弘美さん (第4)
- 藤田洋子さん (第4)
- 佐藤 忠さん (第12)
- 丹治久仁子さん

おくやみ申し上げます

- 平野エミさん (山崎館)
- 佐藤マサ子さん (石母田西)
- 後藤克己さん (高城)
- 渡邊孝一さん (宮東)
- 石川忠太郎さん (宮北)
- 内村ヨツ子さん (第四北)
- 半澤定一さん (大木戸)



生涯学習 つうしん



国見町教育委員会 生涯学習課
観月台文化センター ☎(885) 2676 FAX(885) 2707

一年間の学習に意欲

阿津賀志学級

今年度の阿津賀志学級開講式と交通安全大学証交付式は五月七日、観月台文化センターで約二百人の学級生が出席して行われました。

式は、全員で阿津賀志学級の歌を斉唱して始まり、富永町長のあいさつ、吉田町議会議長、佐藤照雄柔折警察署長の祝辞に続き、新学級生二十八人を代表して、谷津信隆さんに富永町長から交通安全大学証が交付されました。

次いで、「高齢者の健康管理」と題して保原町のブライムケア 桃花林・永田則子婦長の豊富な経験に基づく講義を、楽しい雰囲気の中で聴講。有意義な学習でした。

また、恒例の朝顔展示会（八月七日）に出品できるように、学級生全員に朝顔の種子を、新学級生には朝顔鉢を配りました。阿津賀志学級の学習内容は、講演、実技、研修旅行、園芸など幅広く、四つの趣味のグループ学習を含めると、年間四十回ほどの講座が開かれます。学級生は二百九十人を数え、今年度もたいへんな盛況です。

成人学級



平成十年度の成人学級は、四十人の学級生が出席して、五月八日観月台文化センター大研修室で開講式を行いました。

開講式に引き続き、第一回の学習会として斎藤教育長から「学校教育の諸問題」と題して、国見町の児童数などの現状や全国的に学校教育が抱えている問題点、それに対する短期的、長期的な対応策についてのお話をうかがいました。

学習会終了後の学級懇談では学級委員長をはじめ八人の学級委員を選出しました。

また、本年度の学習を進める上での目途として、次のことを決めました。

▼学級生間の良好な人間関係を醸成して「楽しく」学習する▼
他の人から言われたりすることなく、自ら積極的に参加し「進んで」学習する▼自分の考えを持ち、他の人の考え方をよく聞き、共に「高める」ようにする▼「楽しく」「進んで」「高める」を合い言葉に学習する。



募集 ～フットベースボールで気分爽快～

- ◇日時
《女性の部》(小・中・高生は除く)
7月7日、7月14日(午後7:30～9:00)
《小学生の部》(小学4年～6年の女子)
7月25日、8月1日、8月8日(午前9:30～11:30)
- ◇場所 上野台運動公園・総合運動場
(雨の場合はグリーンアリーナ923)
- ◇定員 各30人
- ◇準備するもの 運動に適した服装、スポーツシューズ
- ◇締切 ▶女性の部……7月3日(金)
▶小学生の部……7月23日(木)

ご利用ください 町民プールオープン



- ◆期間 ・昼間のみ…7月4日～8月31日
・夜間…7月11日～8月23日
- ◆時間 ・第1回…9:30～11:30
・第2回…13:00～15:00
・第3回…15:30～17:30
・第4回…18:30～20:30(7月11日～8月23日のみ)
- ◆料金

区分	昼	夜	利用時間
大人	150円	250円	1人1回 2時間以内
高校生	100円	150円	
小中学生	30円	50円	
未就学児	無料		

◆注意
小学生以下は保護者同伴です。ただし、小学4年生以上で25m以上の泳力のある児童は除きます。
小中学生が夜間利用する場合は保護者同伴です。



観月台文化情報

6月27日(土) 13:00

千葉結子
「親と子のふれあいトーク」

問い合わせ●●●

生涯学習課 文化振興係 ☎(585)2676

7月19日(日) 14:00

となりのトトロ&井上あずみ
コンサート

8月9日(日) 14:00・18:00

伊東ゆかり歌謡ショー
7月7日から前売開始
前売2,000円(当日2,500円)



子育て教室

公民館が主催する家庭教育事業の一つ「子育て教室」の開講式が五月一日、観月台文化センターで行われました。

この教室は、幼児期の家庭教育の重要性を自覚し、子育ての心構えや知識・技能を学びながら教室生同士の交流や親ほくを深めることを目的に開かれています。

「草花栽培」「歯の健康」「幼児の応急手当て」「楽しい料理」「水あそび」など、多彩な学習内容を予定しています。

開講式では、斎藤教育長や高橋公民館長から「今ほど子育ての大切さが重要視されている時代は、かつてありません。子どもの心を育てる学習になるよう楽しみながらがんばってください」と励ましの言葉をいただきました。

その後、係の説明や保育ボランティアの紹介に続き、教室生を代表して高野千代子さんが「人生の先輩であり、子育ての先輩でもある保育ボランティアの方々のお世話になりながら、みんな仲良く、楽しく学習していきたいと思います」と決意を述べました。

開講式終了後は、早速、子どもたちをボランティアにお願いし、一回目の学習をしました。

くくく女性教室

くくく女性教室の開講式は五月十四日、観月台文化センター大研修室で行われました。

この教室は、女性として心豊かで健康に生きるため、教養や趣味を身につけたり、健康づくりに努めたりして、よりよい地域づくりに役立てることを目的

少年仲間づくり教室

少年仲間づくり教室の開講式は五月九日、観月台文化センターで行われました。

この教室は、公民館が学校や学年の異なる集団の中で、心身ともに健全な子供を育成するために開設しているもので、今年度は町内の小学四年生から六年生まで五十七人が参加しました。

開講式には、親子約百人が出席し、高橋公民館長のあいさつと、松浦常雄藤田小学校長から励ましの言葉をいただきました。

に開かれています。

開講式では、高橋公民館長のあいさつ後、斎藤教育長の祝辞、年間学習計画の説明がありました。今年度は、講話、調理実習、研修旅行、議会傍聴など、年間十三回の学習のほか、茶道、スポーツ民謡、手芸の三つのグループ活動を予定しています。

開講式終了後の一回目の学習会は、福島県教育庁東北教育事務所・社会教育主事の古宮睦男さんを講師に迎え、「家庭における女性の役割」という題のお話をうかがいました。「女性が心豊かに生きるには」などについて、国や県の女性教育の方向を交えながらお話をいただきました。

新生活運動にご協力を

- 結婚披露宴は簡素にし、会費制としましょう。会費は1万円以内とし、引出物は自粛しましょう。
- お見舞いは3千円以内とし、快気祝いは自粛しましょう。
- 香典は2千円以内とし、お返しは自粛しましょう。

—国見町新生活運動推進委員会—



た。

オリエンテーションでは、キヤンプやバードウォッチングなど、今後の活動計画についての説明を聞きしました。その後、体育館でフットバスケットやボールを使ったゲームなどを楽しみました。

多
目的集会所、新しく

昨年の秋から新築工事が進められていた第2町内会の集会所が完成しました。大正5年から使われてきた旧集会所に変わり、木造平屋建て、30畳の集会所がメインの施設に生まれ変わりました。



福
祉に役立てて

吾妻吾夫・福島信用金庫理事長が福永町長を訪ね、「福祉活動に役立ててください」と、寄付をしてくださりました。「ご寄付ありがとうございます。有効に活用させていただきます」と福永町長。



ほ
かほか陽気に誘われて



春の恒例となった農業市が、5月5日に親月台公園で開かれました。からりと晴れて、ほかほか陽気となったこの日、花や野菜などの苗を買い求めるたくさんの人たちでにぎわいました。

お
めでと〜じ〜び〜ます

20年もの間、民生・児童委員を務めている松沢正さんが、県知事表彰を受賞しました。生活保護世帯の更生指導や子供たちの健全育成など、社会福祉の向上に寄与した功績が認められての受賞です。



すゝななきたる

注射

森江野小四年 吾妻美香

キラッ

針が にやり

注射のにおい

キョッキョッ、手をかく

目をきゅっつとつぶった私

そっと針の方向を見る

うわっ、ささるっ！

目をつぶる

ヤダヤダよっっ！

また、目が針の方向へ

あれっ

終わっているっ

いたくないっ

やったあ！

児童生徒文集「くのみ第30号」から

編集・発行／国見町 総務課

〒969-1792
福島県伊達郡国見町大字藤田字
一丁田二の1

☎ 024-585-2114
FAX024-585-2181